



2017年3月期 決算説明会

2017年5月9日

JASDAQ: 6467

株式会社 ニチダイ
NICHIDAI CORPORATION

<http://www.nichidai.jp/>

ネットシェイプ事業

◆金型◆

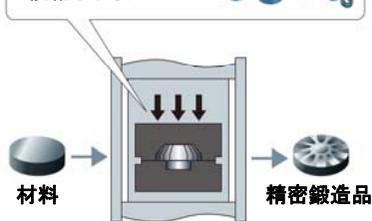
・金型生産、開発から部品製造までのトータルエンジニアリングを提案・提供。

◆精密鍛造品◆

・金型技術を活かした付加価値の高い部品の提供。

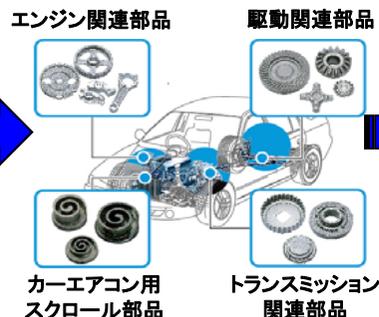
ネットシェイプ用の精密鍛造金型を設計・製造

切削・加熱することなく一発で複雑な形状に加工



部品メーカー(顧客)が精密鍛造金型を使って自動車用部品を生産

(一部当社でも生産)



主に自動車産業

【金型】

・国内の全自動車メーカー系列企業。
・海外の自動車部品メーカーとの取引も増加。

【精密鍛造品】

・自動車部品メーカー
(主製品はスクロール鍛造品)

アッセンブリ事業

・ターボチャージャー部品の組立。
主力はVGターボチャージャー部品。
・国内およびタイ工場で組立て、顧客企業の現地調達ニーズに対応。



納入先メーカー(三菱重工業株式会社)でターボチャージャーの一部に組み込まれる



自動車産業

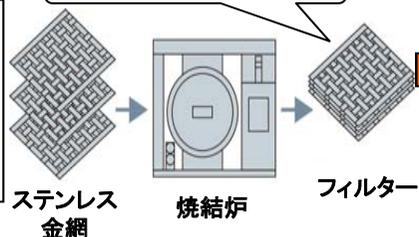
全世界の自動車メーカー

フィルタ事業

・複数のステンレス金網を一体構造化した積層焼結フィルターの生産。
・フィルターの洗浄・再生サービス。

独自の「拡散接合」技術を使ってフィルターを製造

微細で均一なる孔を実現



顧客メーカーの用途に応じて各種フィルター形状に加工



各種メーカー

石油、ガス、化学、繊維、食品、航空宇宙産業 など

ネットシェイプ事業

単独

ニチダイ (ND)

宇治田原工場



スクロール鍛造品



精密鍛造金型

- 精密鍛造金型の生産拠点。
- 約30名の開発人員を持つ。
- 鍛造プレスを保有。鍛造品の生産も行う。

アッセンブリ事業

京田辺工場



VGターボ
チャージャー部品

- 国内におけるターボチャージャー部品の生産拠点。
- 平成27年に宇治田原工場より京田辺工場に移転。

フィルタ事業

ニチダイフィルタ (NFC)

宇治田原工場



積層焼結金網
フィルター

- 国内の開発・生産拠点。
- 焼結炉を5基保有。

海外拠点

ニチダイ アジア (NDA)

◆タイに立地する
金型販売拠点。

ニチダイ USA (NUC)

◆米国オハイオ州に
ある金型販売拠点。

ニチダイタイランド (NDT)

◆タイ・バンコク近郊にある海外子会社。ネットシェイプ事業、アッセンブリ事業双方におけるアジアの戦略拠点。

ネットシェイプ事業

- ・エアコン用スクロール
コンプレッサー部品の生産。
- ・精密鍛造金型の生産

アッセンブリ事業

- ・ターボチャージャー部品
の製造販売
(海外ユーザー向け)

タイ・シタート・メッシュ (TSM)



◆タイ北部・チェンマイ近郊に
立地するフィルターの生産拠点。
石油掘削用フィルターが主製品。
焼結炉を5基保有。

I .17/3期実績

I .17/3期実績 — P/L: 売上・利益の状況 —

単位: 百万円

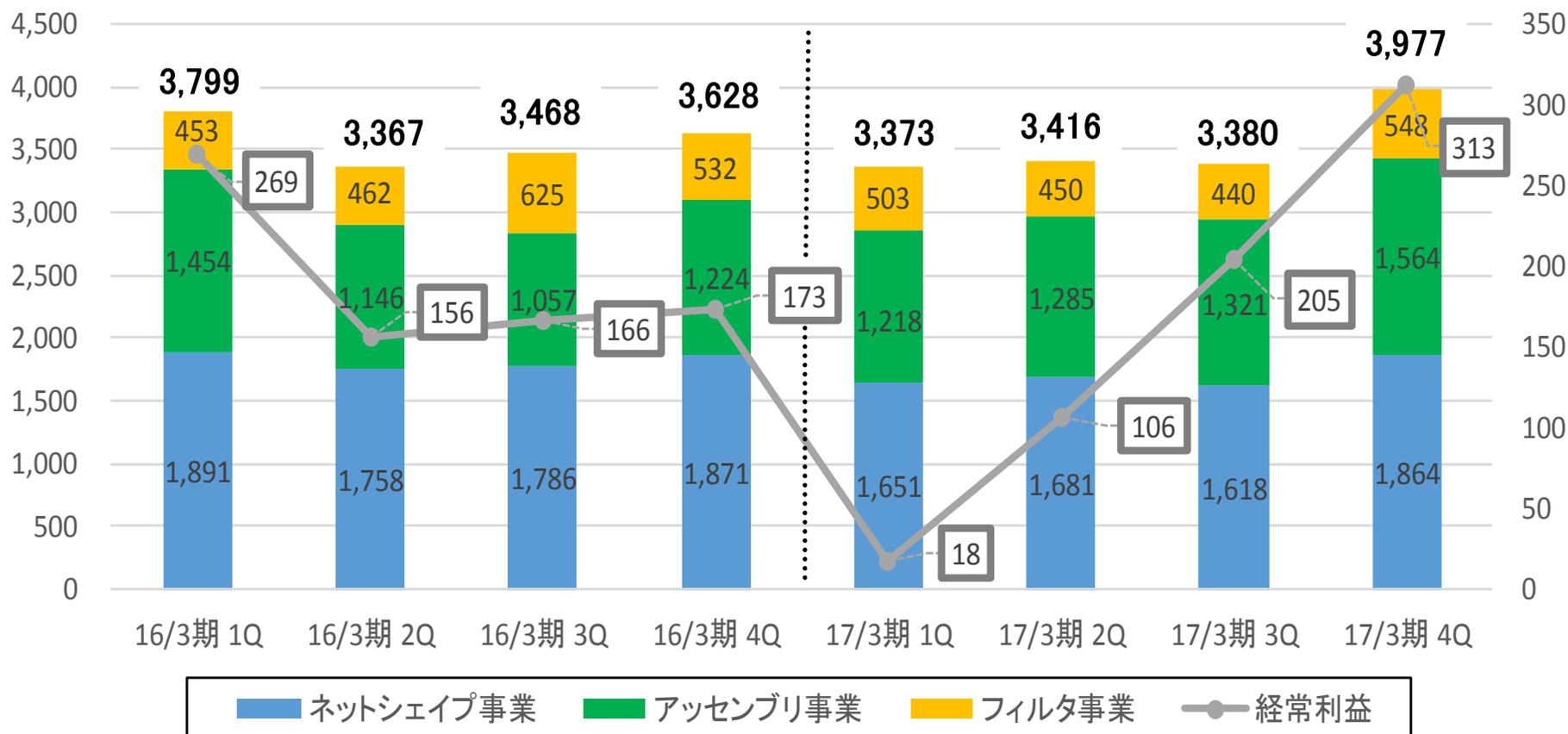
	16/3 実績 15/4-16/3	17/3 計画 16/4-17/3 (16年10月発表)	17/3 実績 16/4-17/3	伸び率
売上高	14,264	14,000	14,147	△ 0.8%
売上総利益	2,923	2,630	2,693	△ 7.8%
販売管理費	2,094	2,060	2,051	△ 2.1%
営業利益	828	570	642	△ 22.5%
営業外損益	62	70	△ 1	—
経常利益	766	500	643	△ 16.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	485	325	424	△ 12.6%

I .17/3期実績 — 四半期別業績推移 —

- ▶ 下半期より、3事業とも収益が好転する。
- ▶ 第4Qは、四半期ベースで過去最高の売上高となる。
- ▶ 経常利益に関しては、下半期からの為替変動の影響あり。

売上高(左軸)
単位:百万円

経常利益(右軸)
単位:百万円



※棒グラフ上方数値は、連結売上高

I .17/3期実績 — 事業別売上高の状況 —

単位：百万円

事業	16/3 通期実績 15/4-16/3	17/3 計画 16/4-17/3 (16年10月発表)	17/3 通期実績 16/4-17/3	伸び率
ネットシェイプ	7,307	6,800	6,816	△ 6.7%
アッセンブリ	4,882	5,300	5,388	10.4%
フィルタ	2,074	1,900	1,942	△ 6.3%
連結計	14,264	14,000	14,147	△ 0.8%

▶ 金型部門：
 ・国内は売上高が増加するも、海外向けが減少。
 ▶ 精密鍛造品部門：
 ・アッセンブリ事業向け部品内製が増加。

▶ 国内外とも売上高が増加。

▶ 石油掘削用フィルターの売上高減少の影響。

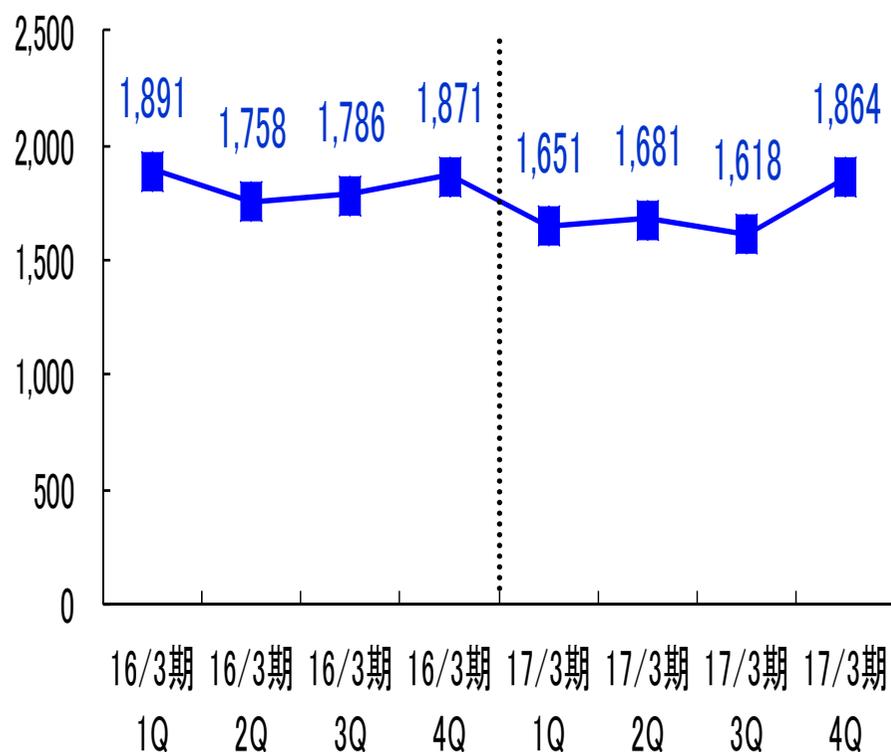
* 百万円未満切り捨て。

I .17/3期実績 — ネットシェイプ事業概況—

- **金型部門:** (国内) 下半期から堅調に推移し、前年対比で増加。
(海外) アジア地域向けが苦戦し、売上高減少となる。
- **精密鍛造品部門:** (国内生産) スクロール鍛造品が減少。アッセンブリ事業向け部品内製が増加。
(海外生産) スクロール鍛造品が減少。為替換算の影響あり。

ネットシェイプ事業売上高推移

単位: 百万円



* 百万円未満切り捨て。

国内外別売上高推移

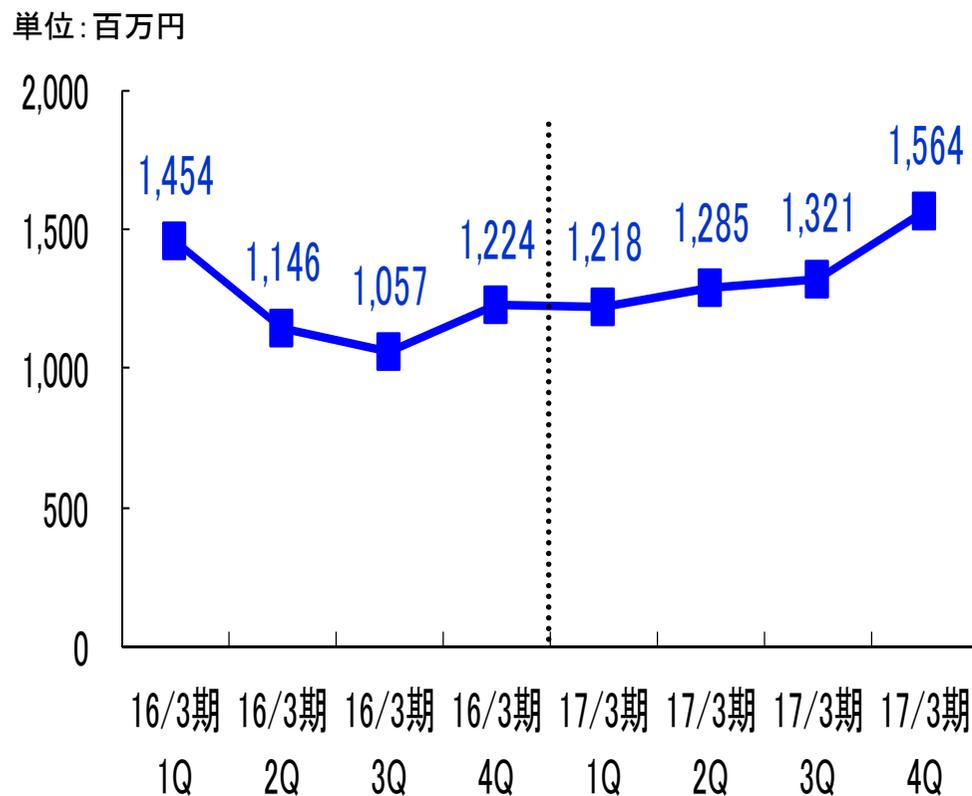
単位: 百万円

	16/3 実績	17/3 実績	伸び率
金型(国内)	4,151	4,185	0.8%
金型(海外)	1,450	1,363	△ 6.0%
金型計	5,601	5,549	△ 0.9%
精鍛(国内)	833	599	△ 28.0%
精鍛(海外)	872	667	△ 23.5%
精鍛計	1,705	1,267	△ 25.7%
ネットシェイプ計	7,307	6,816	△ 6.7%

I .17/3期実績 — アッセンブリ事業概況 —

- ▶ 国内外ともに、ガソリンエンジン車向けターボチャージャー部品の売上高が大幅に増加。
- ▶ 一方、VGターボチャージャー部品は売上高が減少。製品構成が大きく変化。

アッセンブリ事業売上高推移



国内外別売上高推移

単位: 百万円

	16/3 実績	17/3 実績	伸び率
国内	2,102	2,316	10.2%
海外	2,780	3,072	10.5%
総合計	4,882	5,388	10.4%

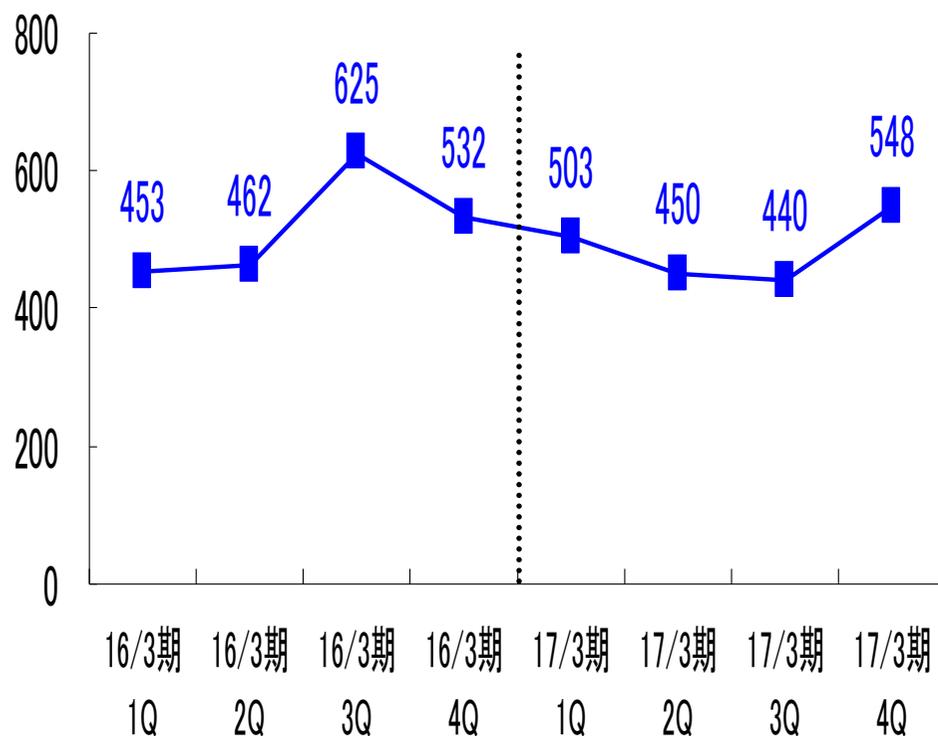
* 百万円未満切り捨て。

I .17/3期実績 — フィルタ事業概況 —

- 国内:大型海水ストレーナーが増加。
- 海外:石油掘削用フィルターの減少により、海外売上高が減少。
- TSMでは、石油掘削用フィルター以外の生産が増加。

フィルタ事業売上高推移

単位:百万円



国内外別売上高推移

単位:百万円

	16/3 実績	17/3 実績	伸び率
国内	1,494	1,522	1.9%
海外	580	420	△ 27.6%
総合計	2,074	1,942	△ 6.3%

* 百万円未満切り捨て。

単位:百万円

	16/3			17/3		
	売上高	経常利益	利益率	売上高	経常利益	利益率
ネットシェイプ	7,307	345	4.7%	6,816	322	4.7%
アッセンブリ	4,882	97	2.0%	5,388	94	1.8%
フィルタ	2,074	322	15.6%	1,942	227	11.7%
連結計	14,264	766	5.4%	14,147	643	4.6%

➤ 売上高減少による影響。

➤ 製品構成が変化した影響。

➤ 海外売上高が減少した影響。

I .17/3期実績 — 売上原価 —

単位: 百万円

	16/3 実績	比率	17/3 実績	比率
売上高	14,264	100.0%	14,147	100.0%
材料費	4,830	33.9%	4,911	34.7%
製品仕入	709	5.0%	704	5.0%
外注加工費	1,245	8.7%	1,207	8.5%
補助材料費	456	3.2%	430	3.0%
人件費	2,483	17.4%	2,499	17.7%
減価償却費	816	5.7%	673	4.8%
在庫増減	△ 22	△ 0.2%	△ 333	△ 2.4%
その他	776	5.4%	694	4.9%
売上原価	11,341	79.5%	11,453	81.0%
売上総利益	2,923	20.5%	2,693	19.0%

材料費

- アッセンブリ事業の売上高の増加による影響。

減価償却費

- 償却方法変更の影響。

在庫増減

- アッセンブリ事業の在庫が減少。

* 百万円未満切り捨て。

単位:百万円

	16/3 実績	比率	17/3 実績	比率
売上高	14,264	100.0%	14,147	100.0%
荷造・運賃	155	1.1%	162	1.2%
旅費交通費	129	0.9%	114	0.8%
人件費	1,028	7.2%	1,046	7.4%
減価償却費	153	1.1%	119	0.8%
賃借料	62	0.4%	61	0.4%
その他	564	4.0%	546	3.9%
販売・管理費	2,094	14.7%	2,051	14.5%

減価償却費
 ➤ 償却方法変更の影響。

* 百万円未満切り捨て。

単位:百万円

	16/3 実績	17/3 実績	増減
現金預金	2,073	2,586	513
受取手形	744	643	△ 100
売掛金	3,054	3,382	328
たな卸資産	2,523	2,021	△ 502
その他	138	124	△ 14
貸倒引当金	△ 1	△ 1	0
流動資産計	8,532	8,756	224
有形固定資産	6,844	6,889	45
無形固定資産	95	131	35
投資その他の資産	252	183	△ 68
固定資産計	7,192	7,204	12
資産合計	15,725	15,961	236

たな卸資産

▶ アッセンブリ事業の
在庫が減少。

* 百万円未満切り捨て。

I .17/3期実績 – B/S:負債・純資産の状況 –

単位:百万円

	16/3 実績	17/3 実績	増減
買掛金	1,318	1,573	254
短期借入金	1,575	1,378	△ 196
未払法人税等	71	95	23
賞与引当金	147	148	1
その他	876	1,078	202
流動負債計	3,988	4,274	286
長期借入金	935	830	△ 104
その他	475	278	△ 196
固定負債計	1,410	1,109	△ 300
負債計	5,399	5,384	△ 14
資本金	1,429	1,429	0
資本剰余金	1,192	1,192	0
利益剰余金	6,681	6,925	243
非支配株主持分	927	936	9
その他	93	92	△ 1
純資産計	10,326	10,577	251
負債・純資産合計	15,725	15,961	236

その他

➤ リース債務の影響。

* 百万円未満切り捨て。

単位:百万円

	16/3	17/3	増減
営業活動によるCF	1,074	1,801	726
投資活動によるCF	△ 692	△ 581	111
財務活動によるCF	△ 664	△ 691	△ 26
現金及び現金同等物の増減額	△ 351	513	865
現金及び現金同等物の期首残高	2,316	1,964	△ 351
現金及び現金同等物の期末残高	1,964	2,478	513
FCF	382	1,220	837

- たな卸資産の増減額
(△は増加)
16/3 △9百万円
17/3 481百万円
- 仕入債務の増減額
(△は減少)
16/3 △268百万円
17/3 266百万円

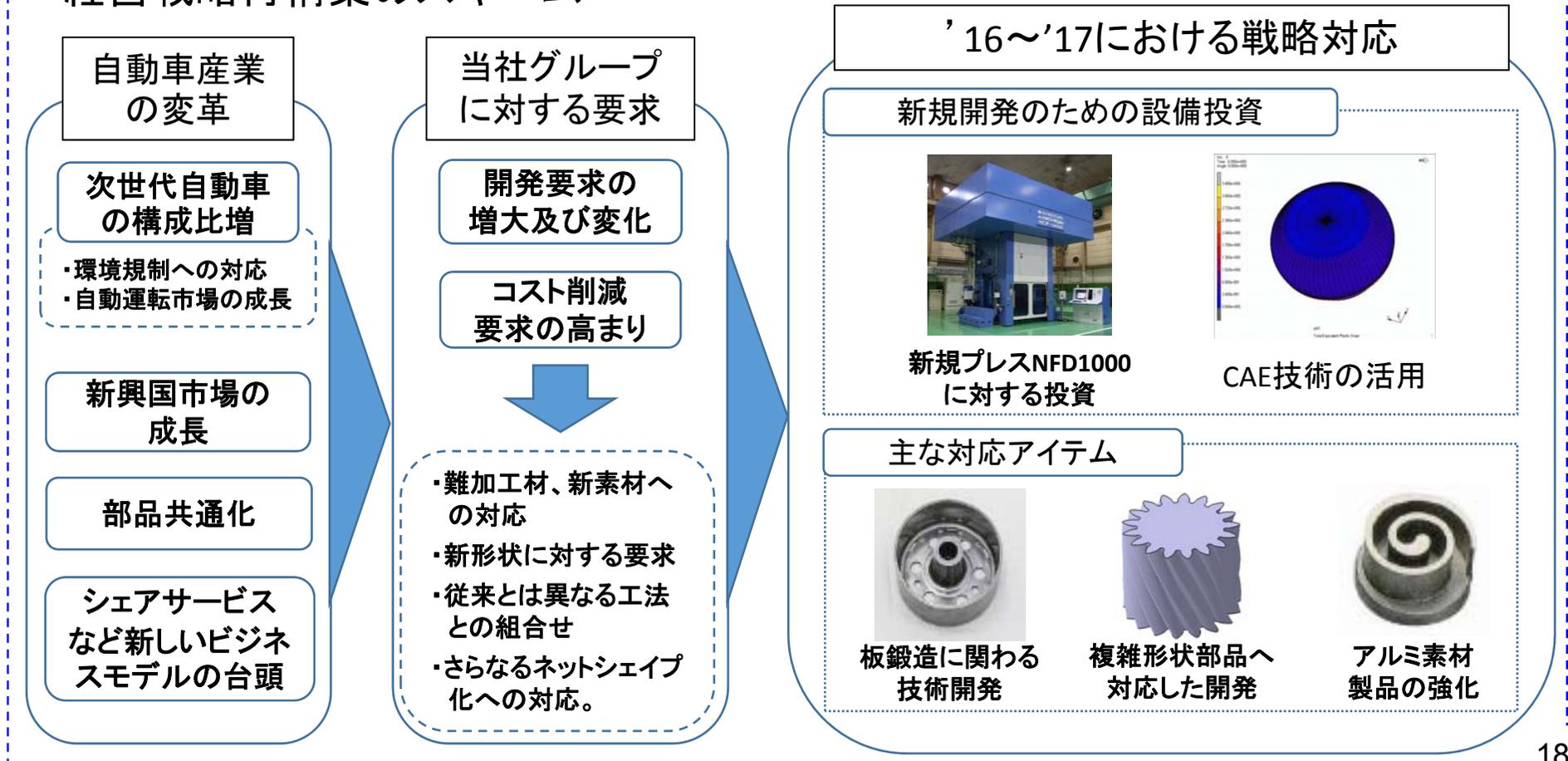
* 百万円未満切り捨て。

Ⅱ. 中期経営戦略について

Ⅱ. 中期経営戦略について

- 自動車産業が変革期を迎えていることから、従来のテーマをベースに経営戦略の再構築を実施する予定。
- それに先立ち、経営体制刷新、設備投資、各施策を推進中。
- 2017年4月1日付で、新たに執行役員1名を選任。

経営戦略再構築のスキーム



Ⅲ.18/3期計画

単位:百万円

	17/3 実績 16/4-17/3	18/3 計画 17/4-18/3	伸び率
売上高	14,147	14,700	3.9%
売上総利益	2,693	2,865	6.4%
販売管理費	2,051	2,125	3.6%
営業利益	642	740	15.3%
営業外損益	△ 1	20	—
経常利益	643	720	11.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	424	440	3.6%

* 百万円未満切り捨て。

Ⅲ.18/3期計画 — 事業別売上高 —

単位：百万円

事業	17/3 通期実績 16/4-17/3	18/3 通期計画 17/4-18/3	伸び率
ネットシェイプ	6,816	6,900	1.2%
アッセンブリ	5,388	5,800	7.6%
フィルタ	1,942	2,000	2.9%
連結計	14,147	14,700	3.9%

金型部門：

- ・アジア地域向けの復調により、売上高増を目指す。

精密鍛造品部門：

- ・前年と同水準の売上高を目指す。

ネットシェイプ

6,816

6,900

1.2%

アッセンブリ

5,388

5,800

7.6%

フィルタ

1,942

2,000

2.9%

連結計

14,147

14,700

3.9%

- ・国内：製品構成が変わるものの、前年と同水準の売上高になる予定。
- ・海外：ディーゼル、ガソリンエンジン車向け双方の売上高が増加する見込み。

- ・石油掘削用フィルターは、引き続き低水準で推移する見込み。

単位：百万円

	12/3 実績	13/3 実績	14/3 実績	15/3 実績	16/3 実績	17/3 実績	18/3 計画
設備投資額	627	1,605	1,290	1,313	774	966	1,140
減価償却費	539	602	764	879	970	793	895

* 百万円未満切り捨て。

IV. 配当について

IV. 配当について

	第2四半期末	期 末	年 間
	円 銭	円 銭	円 銭
13年3月期	8.00	8.00	16.00
14年3月期	8.00	10.00 (普通配当8.00) (特別配当2.00)	18.00 (普通配当16.00) (特別配当2.00)
15年3月期	8.00	12.00	20.00
16年3月期	10.00	10.00	20.00
17年3月期	10.00	10.00(予想)	20.00(予想)
18年3月期(予想)	8.00	8.00	16.00

本日は、ありがとうございました。

株式会社 ニチダイ

NICHIDAI CORPORATION

- ・ 本資料は、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定等に基づいて作成しております。
- ・ 従いまして、様々な不確定要素が内在しており、結果的には実績が見通しと異なる場合があります。

IR窓口：経営企画室／紺野

Tel : 0774-62-3485

Fax : 0774-65-2301

E-mail : konno@nichidai.co.jp

テーマ	2017年3月期の状況	2018年3月期の見通し	今後の方向性
海外展開の強化	<p>金型部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジア地域における売上高が低調に終わる。 ・NDT: 前年を下回る水準となる状況。 <p>精密鍛造品部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクロール鍛造品の生産が減少。 	<p>金型部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジア地域における売上高が増加する見込み。 ・北米地域が苦戦する見込み。 ・NDT: 生産品種の拡大を目指す。 <p>精密鍛造品部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NDTにおけるスクロール鍛造品の生産は前年並みとなる見込み。 	<p>金型部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外進出を積極化している日系メーカーに対し、国内外の拠点の連携をとることで対応。 ・タイ NDTにおける生産品種を拡大し、タイ及び近隣地域における日系メーカーへの対応を強化する。 ・中国、韓国地域 ローカルメーカーと協調し、拡販に努める。 <p>精密鍛造品部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい生産品を模索していく方向。
新規事業技術開発	<ul style="list-style-type: none"> ・新規プレス「NFD1000」が稼働。板鍛造、中空工法などの開発を進める。 ・ヘリカルギアの新規金型等、得意領域の深耕。 	<p>金型部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・板鍛造など技術領域を広げるための開発を進める。 ・新規プレスを活用した、金型開発活動の強化。 <p>精密鍛造品部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規量産事業の立ち上げを模索。 ・既存生産品種の拡販も目指す。 	<p>金型部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金型部門で行っている技術開発のシーズを国内外の新規金型需要開拓へ活用すべく、技術開発を推進。 <p>精密鍛造品部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塑性加工技術を活かした新規事業の立ち上げを目指す。

テーマ	2017年3月期の状況	2018年3月期の見通し	今後の方向性
QDCのさらなる改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ガソリンエンジン車用ターボチャージャー部品が大幅に増加。そのため、製品構成が変化。 ・たな卸資産を大幅に削減。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外とも、売上高増加を見込む。 ・構成部品の内製生産の効率化は継続。 ・生産自動化を強化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2018年3月期以降の新機種増加に向け効率性を追求する。 ・構成部品の内製生産効率化など付加価値を高める施策を継続。 ・生産自動化に向けた動きを進める。
海外展開の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ディーゼル及び、ガソリンエンジン車用双方のターボチャージャー部品が増加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、双方の製品種とも増加する見込み。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新品種獲得に向けた活動を継続。
新規事業技術開発	<ul style="list-style-type: none"> ・ガソリンエンジン車用ターボチャージャー部品の生産が増加。 ・ネットシェイプ事業で行っている構成部品内製生産が増加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アッセンブリ事業の国内の開発部門は、新規品獲得のためのバックアップを継続。 ・塑性加工技術を活用した構成部品内製化を継続。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アッセンブリ事業の国内部門をマザー工場として位置づけ、開発部門を強化。 ・塑性加工技術を活用した構成部品内製化は継続。 ・新規品獲得を進めていく予定。

テーマ	2017年3月期の状況	2018年3月期の見通し	今後の方向性
海外展開の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・TSMにおける石油掘削用フィルターが前年対比で大幅に減少。 	<ul style="list-style-type: none"> ・TSMの石油掘削用フィルターに関しては、引き続き低水準で推移する見込み。 ・別途新規開拓を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外生産品の拡大を目指し、受注活動を実施。
新規事業技術開発	<ul style="list-style-type: none"> ・MM(メタルメッシュ)触媒フィルター：二輪車向け排ガス浄化装置への搭載を念頭においた受注活動を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・MM(メタルメッシュ)触媒フィルターの実用化に向けての動きを加速。 ・その他、燃料電池車用などの新しい用途開拓をするべく、活動を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フィルタ事業のコア技術となる拡散接合技術を中心に、新用途の拡大に努める。
QDCのさらなる改善	<ul style="list-style-type: none"> ・量産品が増加したことなどにより、製品構成がさらに変化している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大型海水ストレーナーの生産は同水準で推移する見込み。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア地域における量産製品を増加させる方針を進める。 ・量産品の生産性向上策を継続。